

# 共生力

HP: <http://ajciee.or.jp/>

Tel : 055-269-6533 Fax: 055-269-6534

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-32-16

甲府丸の内マンション 302

発行人：黒田文男

## 視察研修訪中団派遣

### 泰安市東平県の小学校を視察

9月23日～26日に、視察研修訪中団として各県代表を中心に14名（含む黒田文男代表理事・赤岡業務執行理事）が、中国宋慶齡基金会との「新たな教育交流プロジェクト」の開始に向けて、中国山東省泰安市東平県の教育視察を行いました。宋慶齡基金会からは、担当責任者の劉穎さん・担当スタッフの袁振雅さんが同行しました。

最初に訪れたのは、東平県第4実験小学校でした。校門を入ると、きちんと「制服」を身につけた上級生だと思われる児童代表が、校長先生方と一緒に出迎えてくれました。そして、しっかりとした口調に身振りも交えて、小学校についての様々な紹介をしてくれました。校舎に入ると早速に音楽室に案内され、高学年の授業を見せていただきました。音楽の専科を担当している中堅と思われる男性教師が、熱心にリズム指導を行っていました。視察研修参加の先生方は、それぞれが授業に対する感想を持ちながら、今後の音楽教育を中心とした教育交流について考えることができました。



（高学年の音楽授業の様子）

その後、他学年の他教科の授業の様子も見学し、第4実験小学校での視察研修を終えました。外国の教育関係者による学校視察は初めてということで、

地元の放送局の取材なども受けました。入学希望者も多いそうで、一つの授業が60人から70人くらいで行われていたのには驚かされました。孔子の像が建つ校舎正面で、関係者と記念撮影をおこない、その後第4実験小学校を後にしました。

次に訪れたのは、大洋鎮裴洼小学校でした。校門の所で、裴召文校長先生をはじめ沢山の学校教育関係者がお迎えてくれました。先に訪れた市中心部にある第4実験小学校とは対照的に、農村部にある裴洼小学校は、教育設備等の課題を抱えていることが、視察研修の中で確認できました。各学年とも授業に取り組む姿勢が意欲的で、視察研修参加のメンバー全員が感心させられました。

教育局の担当者との懇談会では、学校運営に係わる諸事項（職員・組織・人事・カリキュラム・日課・施設設備等）について、多くの質問が出されたり、日中それぞれの教育実践についての交流が行われ、大いに研修としての意義が深まりました。話し合いの中で「音楽教育については、オルガン等の楽器もなく、ただCDをかけて歌わせるだけのような、とても音楽授業とは呼べない実態です。」と言う教育局の体育音楽教育担当者からの発言に、今後の教育交流・支援のありかたについて考えさせられました。

授業中とはかわって、明るく人なつこい笑顔の子どもたちに手を振りながら、大洋鎮裴洼小学校での視察研修を終えました。



（大洋鎮裴洼小学校の中學年授業の様子）

### 東平県視察研修に先立ち

### 宋慶齡基金會を訪問

視察研修訪中一日目、山東省東平県での視察研修を行う前に、北京市内の中国宋慶齡基金會を訪問しました。黒田代表と唐九紅基金部長を中心とした意見交換をしました。

新たな取り組みについて、易県での成果を踏まえ、東平における教育交流プロジェクトを、共同して始めることが確認されました。また、来年度は、実践交流を含めた第17次訪中団を、さらに、再来年には教育交流訪日団を東平の先生方を中心に組織し実践交流を行うことが話されました。具体的には、今回の視察研修を踏まえて事務レベルで詰めていくことも確認されました。



(宋慶齡基金階会議室で)

### 視察研修

#### 宋慶齡故居・魯迅故居・泰山 盧溝橋・抗日戦争記念館訪問

今回の訪中では、日中の交流の歴史に触れる研修として、北京市内にある中華人民共和国名誉主席宋慶齡の故居（溥儀の父親の邸宅）と魯迅故居・魯迅博物館を訪ねました。多くの歴史的資料に接し日中の歴史についても研鑽が深まりました。また、泰安市においては中国五岳の一つで、道教の聖地でもあり、中国の人々の熱い信仰の対象でもある世界遺産の名峰「泰山」に登りました。北京市一泰安市の往復には、中国高速鉄道に乗車して中国経済技術発展を体感してみました。さらには、今訪中の最重要視察研修として、戦後70年の節目の年という意義も踏まえ、盧溝橋と抗日戦争記念館を訪れました。日中の歴史上重要な場所を訪れ、両国にとって最も不幸であった日々について認識を深めました。記念館正面で献花し、犠牲者の靈を慰めました。

### 中國人民抗日戰爭紀念館



(抗日戦争記念館前にて)

### 第4回ホームステイin山梨大成功

『田中一郎記念奨学基金』の事業として実施してきた中国人留学生のホームステイ事業を今年度も実施しました。第4回ホームステイは、8月7日（金）から9日（日）までの3日間で、山梨県の教職員家庭（現職6・退職1）をホストファミリーとして行いました。参加希望が多数でしたが、今年度も募集人員を7名にしぶり実施しました。まとめの会での発言や報告書・感想文を読んでも、このホームステイの取り組みが、留学生・ホストファミリーのどちらにとっても交流・理解・信頼の進展に大いに役立ったことが確認できました。



(教育会館での交流会後の記念撮影)

### 「孫中山・宋慶齡と日本」パネル展 オープニングセレモニーへ参加

10月24日（日）から、東京中国文化センターにおいて、「孫中山・宋慶齡と日本」と題するパネル展が宋慶齡基金会によって開かれました。オープニングには、黒田代表理事と赤岡業務執行理事が出席しました。孫文と日本とのつながり、宋慶齡と孫文そして日本との関わりが、写真と解説のパネルによって、詳しく照会され、大いに価値ある展示会でした。孫文が日本に来て110年、孫文と宋慶齡が日本で結婚して100年という節目の年にあたるという説明があり、改めて、当時の日本の進歩的人々と中国の意識ある人々との関わりを確認することができました。



### 内閣府による財団への立ち入り 検査（監査）が行われました

9月16日（水）に、本財団に対して内閣府の「公益財団法人に対する立ち入り検査」が行われました。内閣府参事官補佐と政策企画調査官の二人が、事務所を訪れ、午前10時から午後4時まで、約6時間にわたって、事業内容・財務内容・諸規定の整備・諸帳簿等の管理・ホームページ等の広報・登記・内閣府への報告等について細部にわたって検査しました。当日は、赤岡業務執行理事と石川事務職員で対応しました。検査のまとめとして、「公益財団として有意義な価値ある活動をされていることがわかりました。続けてがんばってください。」と、前向きな評価をいただきました。

#### お知らせ

- 「ホームページのアドレスが変わりました！」
- プロバイダーとの新たな契約によって、ホームページのアドレスが、以下のように変わりました。  
<http://ajcjee.or.jp/> 日本中国国際教育交流協会で検索を掛けければでできます。